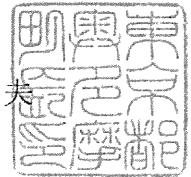




奥地第 271 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

奥多摩町長 河 村 文 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件につき、別添のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

東京都 奥多摩町

地域住民が安心して生活を営み、地域産業の振興を図る上で道路の基盤整備は必要不可欠であり、一定の降雨により通行止となる道路や、災害時の孤立化は地域住民にとって、日々の生活に対し非常に問題であり重くのしかかっている。

平坦地では縦横無尽に道路が繋がりがり生活の営みに支障は無いが、山間部では1本の道路に依存しているほか、道路構造基準に適合していない道路が現在でも各所に見受けられる。そのことにより、交通事故の解消ができないままであり早急の改善が必要である。

1. 当町の国道の道路幅員や道路曲線が道路構造基準に適合していない道路が殆どであり、道路整備水準が低いため交通事故が絶えない。安全安心の道路整備を望む。

2. 山間部の道路一本が生命線であり地震や風水害による災害等では地域住民の死活問題であり、孤立化を防止する新規バイパス道路の整備や既存道路の改修整備、徹底した道路の安全維持管理を望む。

今後の道路行政についての意見・提案

東京都 奥多摩町

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状 1. 当町では、唯一他の自治体とつながる道路は、急峻な地形を縫うように開設された、国道411号線の道路で、町民の日々の生活や産業活動を支えている。この路線の境地区以西の道路は、今から50年前に完成した小河内ダムの建設によるもので、昭和初期から80年の歳月が経ち、部分的に強度不足により耐久力が無く、急傾斜地に造られているため、台風や豪雨また地震などによって崩壊する危険がある。また、中小河川が国道を横断しているため、土砂の流出により国道が度々通行止めとなる状況が昨今頻繁に発生している。そのため、各所で道路が寸断され孤立化している状況である。また、この区間にある17箇所のトンネルの一部で、幅員が5.3mと狭く高さも低く歩道も無い状況であり、現在の道路構造令にある歩車道の建築限界を確保することができず、大型バス等のすれ違いもできない他センターラインを超えて通行するため、普通車との接触等危険性があり、また、歩道にも安全柵も無くトンネル内の照明も暗いため非常に危険な状況である。 2. 当町の3分の2の地域で、連続雨量140mmで通行止めとなり、迂回路がないことから町民の日常生活にも支障をきたしているため、国道のバイパスの必要性がある。また、歩道未整備箇所もある他道路構造令から逸脱した視距の悪い急カーブの連続により交通事故が年間257件と多発している	○課題 1. 道路構造令に適合した道路整備の確立 2. 連続降雨でも通行止めにならない安全安心の道路整備の確立 3. 国道のバイパス道路建設促進
--	--

3. 当町から山梨県小菅村までの国道139号線は小河内ダム建設時の道路であり、現在の道路構造令に適合しないため道路幅員が狭く、急カーブのため大型車のすれ違いが出来ないほか、車両事故が多発しており、危険な道路と位置付けられている。

また、観光シーズンには、中央道の迂回路として、山梨県甲州市や大月市方面から通行する車両が増加し道路渋滞を引き起こしている他、平成24年度の松姫トンネル開通後の大月市方面から奥多摩を経由し圏央道へのアクセス車両の増加が予測される。整備の進んでいる山梨県側から進入する車両等は、狭く急カーブの町内国道で、更に事故増加による危険が懸念される。車両、歩行者を含め安全で安心の道路整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

東京都 奥多摩町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
境地区から留浦地区までの道路・トンネル拡幅 道路構造基準適合道路の構築	都道45号線の御岳トンネルは、(昭和62年3月完成)拡幅改修されるまでは、車道幅員が狭く大型車のすれ違いが出来ない素掘りのトンネルであったが、1車線を確保し通行させながら道路構造基準に合う構造に改修したため、歩行者の安全と大型車のすれ違いに支障ない道路となった。	既設トンネルの拡幅やバイパストンネルの新設により、大型車のすれ違い又は歩行者の安全が保たれ、交通事故の発生しない安心安全な道路に生まれ変わったことで、通過時間の短縮、災害に強く通勤・通学での安全や観光面では入り込み客の増加による増収や地場産販路の拡大等多方面にプラス効果が発揮され、人口の増加や産業振興の拡大に繋がる。	全てのトンネル内でのラジオ聴取、携帯電話の利用が可能であること。
原地区急傾斜地指定地区回避の道路整備 (平成2年2月26日) 告示356号	当町の地層は、秩父古成層が隆起してできた山地であり、年代も古いため各所で崩壊事故が多発している。特に国号411号山梨県では、大量の土砂崩壊のため、以下のトンネルを構築し安全に通行できるように対応している。 丹波山トンネル(1,989年7月竣工) 羽根戸トンネル(2,002年7月竣工) 一之瀬高橋トンネル(2,008年3月竣工)	この地区は、過去3回程の崩壊により、通行止めを余儀なくされていましたが、バイパストンネルの新設により、通過時間の短縮と崩壊による通行止めの回避ができることにより、安心して住民の日常生活が支障なく送れる。	

今後の道路行政についての意見・提案

②—2 地域の目指すべき将来像

東京都 奥多摩町

1. 大規模な地震や土砂崩壊に強く、安全安心して暮らせる地域づくり。
2. 歩行者や車両がスムーズに安全通行できる道路構造基準により構築される道路の整備。